

令和7年度第12回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和8年2月27日（金）午後1時30分～午後3時15分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 丸 徹 也
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真 奈 美
委員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課管理監 黒 沼 淳 一
委員 多 田 千 鶴 中央公民館長 阿 部 也 寸 志

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

（1）教育長挨拶

- ・本日の職員の朝礼で、2月も終わり残り1ヶ月であるが、次の年に仕事を持ち越さないようにと話があり、いい話だと思った。残り1ヶ月よろしく願います。
- ・3月1日の東校の卒業式に出席する。委員の皆さまには各校の卒業式の出席をよろしく願います。東校ではヘレンケラーの話をする予定。苦勞した中でも希望を抱いて成功した人がいるということ伝えたい。

【各種会議、イベント等について写真などを用いて説明】

- ・上川管内社会教育連絡協議会から3名が10年表彰を受けられ、教育長室で伝達表彰を行った。
- ・翔雲高校野球部が惜しくも21世紀枠での甲子園出場とはならなかったが、補欠となった。校長から聞いた話では、渡辺監督は選手に「積極一貫」という言葉を投げかけたとのこと。21世紀枠では選ばれなかったが、自力でのチャンスはまだあるので積極的に行こうということであり、いい言葉だと感じた。
- ・こども夢トークが公民館の主管で、上士別小、南中でそれぞれ行われた。
- ・読書環境醸成フォーラムが、社会教育課と民間がタイアップして開催。
- ・保育園によるお父さんの職場訪問、全道中学スキー大会出場の選手や、北海道の中学校選抜に選ばれたブレイズの士別中 阿部くんの表敬訪問があった。
- ・東校の移転についての説明会を中央地区で開催。
- ・その他、1月下旬に多寄のランタンまつり、2月の士別雪まつり・雪はね選手権、多寄の神代神楽について紹介。
- ・上川教育局の教育指針である、上川学びフォーカスが届いた。これに準じて、士別市学びフォーカスを作成する。
- ・教職員人事異動について、本日お諮りする。2/20に校長、3/2に教頭・一般教諭の内示を行う。

（2）議事について

○泉山教育長 進行

議案第31号 士別市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○千葉課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地域の人材を活用して学校の働き方改革を進めることを目的として改正がされたので、それに則り、士別市学校運営協議会規則の改正を行うもの。議案に記載のとおり、第2号の次に第3号として、「教職員の業務量の適切な管理、健康確保の実施に関すること」を1号加え、こちらを学校運営協議会として行うということで捉えている。

○泉山教育長

この件について、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第32号 士別市青少年指導センター設置規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○千葉課長

これまで街頭指導を教職員の方々にも協力いただいていたが、教職員の方々の負担軽減、学校独自で登下校の指導や街頭での指導を行っている現状もあるため、指導センターの業務内容を見直し、これまで「指導員」としていた教職員などを、「連絡員」という形に変更するもの。それに伴い、予算についても謝礼を減額している。これまで4月、5月に学校から報告をいただいていた青少年指導センターの指導員を、教育委員会会議において委嘱の承認をいただいていたが、これからは、連絡員という形になるので「選任」という形を取りたいと考えている。

○泉山教育長

関連があるので、議案第33号 士別市青少年指導センター業務規程の一部を改正する規定について、続けて説明を求める。

○千葉課長

先ほど申し上げた規則の改正に伴い、こちらも「指導員」を「相談員」に改正するなど、文言整理を行うものである。

○泉山教育長

第32号、第33号議案について、どこの市町村でも子どもたちが集まりそうなところの見回りを行っていて、それも青少年指導センターの役割であるが、ここ数年、顕著なものが見られない。それで指導員制度も形骸化してきているのではないかと思っていた。この体制自体は何かあったときには大事であるので、連絡員という形にして、可能な限り事務局で見回る事にして、何かあった時には、この連絡体制をとっていくというもので、本市の実態を踏まえながら行おうとするものである。

生徒指導にも絡むところであるが、この辺りはいかがか。

○山田委員

指導員に謝礼を払っていたのか。

○千葉課長

出ていただいた分について、謝礼をお支払いしている。

○泉山教育長

この件については、よろしいか。(全員了承)

○泉山教育長

議案第34号 士別市人づくり・まちづくり推進本部等設置要綱の一部を改正する要綱について、説明を求める。

○千葉課長

もともと、ワーキンググループを設置しており、人づくり・まちづくり推進計画に則って、かなり踏み込んだ役割を要綱では謳っていた。今回、第3期の人づくり・まちづくり計画策定にあたり、庁内検討グループに意見を求めており、実情に合わせてワーキンググループの役割を見直した。もう一つは、生涯学習インストラクターは、一般的には、一般財団法人 社会通信教育協会の人材バンクに登録される制度に対しての生涯学習指導員インストラクターという意味合いであり、人づくり・まちづくりで謳っているインストラクターは意味合いが違うため、文言整理をさせていただき、今回、インストラクターを廃止する。この生涯学習インストラクターというのは、市民から何か教えてほしいとか、問い合わせがあったことに対して、インストラクターから回答するという意味合いがあったが、実情に合わせて廃止させていただきたい。

○泉山教育長

これについて、ご意見ご質問はあるか。

実情に即して整理をするということで、ご理解いただいてよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第35号 士別市民自主企画事業マイプラン・マイスタディ実施要綱を廃止する要綱について、説明を求める。

○阿部館長

これまで市民自主企画事業として市内の団体や実行委員会に対して、自主的に活動を行う場合に支援をしてきている。令和6年度、7年度に事務事業アセスメントにおいて事業の見直しをおこなったところ、利用実績がここ数年で少ないことから、一定程度の役割を終えたという判断により、令和8年4月1日で廃止するものである。

○泉山教育長

これについては、何度か委員の皆さまにも承知いただいていたところである。

この件については、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第36号 令和7年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○岡田課長

補正予算について、一括して説明する。

小学校整備事業費、中学校整備事業費については、電気施錠を設置するための補正で、士別小学校、南小学校、士別中学校と南中学校の4校に設置するもの。令和8年度の新年度予算に一度計上したが、歳入として学校施設改善交付金を受けることができる可能性があり、この事業が7年度で終了であることから、7年度補正予算で第1回定例会最終日に提案することになった。金額は小学校整備事業費で389万3千円、中学校整備事業費で395万1千円の補正予算である。

それ以降は、年度末における電気代や光熱水費、その他の執行残の整理などを行う減額補正であり、32ページまでが学校教育課、33ページが給食センター整備事業費、34ページが生涯学習情報センター管理事業費、35ページが文化センター管理運営事業費となっている。

○泉山教育長

電気施錠については、市内4校に設置され、まだ設置していないのが多寄小と朝日中の2校となった。あとは減額の補正ということであるが、補正予算についてはよろしいか。

(全員了承)

(3) その他

◇令和8年第1回定例会大綱質疑について

岡田課長説明

・各議員からの大綱質疑の内容について説明

◇公民館中士別分館について

阿部館長説明

◇当面する今後の日程について

丸部長説明

○泉山教育長

議案第37号 令和8年度士別市学校教職員の人事異動について、説明する。

午後2時55分 秘密会を宣する

午後3時15分 秘密会を解く

午後3時15分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦